

第9回「雪の学習」研究会

主催者名： 北海道教育大学・北海道雪プロジェクト・札幌市立新琴似緑小学校・北海道教育大学教育学部附属札幌小学校

後援者名： 北海道教育委員会 札幌市教育委員会

実施日時： 2010年12月6日（月） 13:15～16:50

実施場所： 札幌市立新琴似緑小学校

参加者数： 95名

概要：(a)公開授業『冬の天気～日本海が雲を作る！』（5年理科）ではハバロフスクと札幌の気温と降水量を比較しながら、冬の気象での日本海の役割を浮かび上がられると共に、日本海に発生する雲を衛星画像で示した。公開授業に合わせ、ワークシート「冬の気象」を制作し、参加者に配布した。雪プロ提案・模擬授業『これが雪（冬）の学習だ！』では、除雪・空港・雪エネルギー・住居・外国語活動などの授業の展開例を示した。また、トーク&トーク「ここから本番！雪の授業」では札幌市での雪学習の動向や雪の学習をどのように始めたら良いかなどを紹介した。

(b)事後アンケートによれば、研究会の満足度は5段階評価で4.6、取り上げた内容を授業でやってみたいかが4.3と概ね好評であった。しかし、雪や寒さの実践を行っていない学校が参加教員の半数、Webページ「北海道雪たんけん館」を見たことがない方が35%で、更に普及を図っていく必要がある。

参加者感想例：

- ・「授業はとてもおもしろく、子どもたちの「言いたい！」がたくさんあって、ワクワクしました。根拠もしっかりしていて、水蒸気のことなどまで出てきて驚きました。先生の授業の組み立てはもちろん、ワークシートも適切なものになっていて、子どもの考えを広げていくような作りだと感じました。」
- ・「大変楽しい研究会でした。先生方が生き生きした顔をしていらっしゃることが印象的でした。」
- ・「公開授業ではどの子もしっかりとした根拠をもって発言しているのに驚きました。提案された授業もどれもとても勉強になりました。最後までとても楽しく参加できる研究会でした。」
- ・「実際に授業でどう扱うかをみれたのはとても参考になり、自分の中でもイメージが膨らみました。これからインターネットも活用させていただいて勉強したいと思います。」
- ・「小学校の先生方による模擬授業を見て、自分が将来教員になった時に参考にしたいなと思いました。実際に外で雪の結晶を見るという実践が楽しそうだと感じました。」